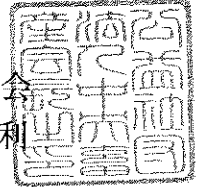


25年度発中畜第517号
平成25年9月19日

大家畜DB利用者 各位

公益社団法人中央畜産会
会長 小里 貞利



平成26年度からの大家畜畜産経営データベース利用の有料化について

標記DBにつきましては、日頃よりご利用いただきありがとうございます。
本日は、これまで無料にてご利用いただいております標記DBについて平成26年度より有料化することについて、ご案内させていただきます。

本DBは、平成12年度から酪農経営並びに肉用牛経営等の経営向上や経営支援をサポートするために国等の補助事業により運営してまいりました。

しかしながら、運営開始から10年を迎えた平成22年度をもって補助事業での運営が終了したところであります。

これを受け、本会では畜産経営支援業務の効果的・効率的な推進に寄与する観点から引き続き本DBを運営することとし、平成23年度は中央畜産会が運営・管理費を負担し、平成24、25年度におきましては道府県畜産協会各位に県（道府）内の利用状況に応じて、一部利用料金をいただく形で運営してまいりました。

しかしながら、本会並びに道府県畜産協会による経費維持が困難なことから、平成26年4月1日からはご利用者全員から利用状況に応じて利用料金をいただく形での有料化にて運営していくことといたしました。

これまで本DBをご利用いただいております皆様に対しましては、有料化となりますことについてご理解願います。

つきましては、利用料金体系、平成26年度からの有料化開始に向けたスケジュール等についてご連絡申し上げますので、ご確認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本件に係るお問い合わせにつきましては、すべて本会あてにお願いをいたします。お問い合わせ先は別紙のとおりとなります。

(別紙)

大家畜畜産経営データベースの平成 26 年度からの利用料の体系等について

1. 利用料の請求対象

- ・ 畜産経営に対して大家畜DBを利用して支援を実施する組織
- ・ 自らの経営管理等を目的に大家畜DBを利用する畜産経営

2. 利用料の根拠

ハード及びソフトを整備し管理・運営体制を確立し、大家畜DBの各種データを利用者が使える状態とすることに対する対価。

3. 年間利用料（消費税別途）

1) 畜産経営に対して大家畜DBを利用して支援を実施する組織

(1) 公益社団法人中央畜産会の地方会員

基本料金（10,000 円）＋利用データ毎の支援農家戸数×500 円

(2) 上記地方会員以外の畜産経営支援組織（非営利組織・団体）

基本料金（10,000 円）＋利用データ毎の支援農家戸数×3,000 円

(3) 営利組織（株式会社等で営利活動を行う民間事業者）

基本料金（30,000 円）＋利用データ毎の支援農家戸数×6,000 円

※1 利用データ件数が全体で 1,000 件を超える場合、1,000 件を超える分以降は 1 件（データ）当たり利用料を 100 円とする。

※2 「利用データ」とは本DBから提供するデータであり、「大家畜畜産経営データベース利用規約」で定める以下の提供データを指す。

- ① 酪農経済データ
- ② 肉用牛経済データ
- ③ 牛群検定データ
- ④ 牛個体識別データ
- ⑤ 枝肉格付データ
- ⑥ 枝肉全国データ

【利用料算定の例示】

利用者：地方会員

支援戸数（利用同意を得ている戸数）：酪経データ 10 戸、牛群検定データ 20 戸

→ 利用料金：基本料（10,000 円）＋（10 戸＋20 戸）×500 円＝25,000 円（税別）

2) 自らの経営管理等を目的に大家畜DBを利用する畜産経営

基本料金 (10,000 円) + 利用登録する利用データ数 × 500 円

※ 上記 1) の※2 に同じ。

【利用料算定の例示】

利用者：自己利用する畜産経営

利用する個別データ：酪経データ、牛群検定データ、牛個体識別データ

→利用料金：基本料 (10,000 円) + (3 種) × 500 円 = 11,500 円 (税別)

4. 平成 26 年度 4 月からの有料化開始に向けたスケジュール

平成 26 年 4 月からの有料化にあたり、整理上は本 DB の運営を同年 3 月末日をもって一旦終了させていただき、同年 4 月 1 日から新たに運営を開始させていただきます。

これに伴い以下のスケジュールで今後関係作業を進めてまいります。

年月日	作業内容
平成 25 年 9 月 19 日	有料化のご案内 (中畜→ご利用者) ※本文書 ・利用料体系等の説明 ・平成 26 年度以降の利用の有無の確認
～平成 25 年 12 月末日	平成 26 年度以降の利用の有無についての申請 (利用者→中畜) ※支援組織の場合には、併せて、平成 25 年度までに支援農家 (利用同意を得ている農家) として登録している畜産経営のうち、平成 26 年度以降もそのまま支援対象として残す経営や利用データについても申請。
～平成 26 年 3 月上旬	利用契約書の送付 (中畜→ご利用者)
～3 月末日	利用無しの組織、利用しないデータ設定の抹消処理 (中央畜産会)

5. 確認作業等のお願い

お手数をお掛けいたしますが、別添「利用申請書」により平成 26 年度以降の利用の有無等について平成 25 年 12 月末日までに FAX にてご回答願います。

ご回答の内容をもって、利用登録の整理・抹消を行います。

ご回答がない場合につきましては、平成 26 年度以降の利用はなされないと判断し平成 26 年 3 月 31 日をもって既利用登録を抹消させていただきます。

なお、経営分析システムに入っているデータにつきましては、利用しないとして登録経営の抹消を希望された場合であっても、経営者から利用同意を得て

いた支援組織は過去のデータの利用が今後もできる環境にしておきます。ただし、当該経営に関するデータの新規入力・修正等はできなくなります。

6. 大家畜 DB の改善

本DBにつきましては、今後、利用者の皆様にとって利便性の高いツールとしての改善を逐次行ってまいりますので、今後ともご利用いただきますようお願い申し上げます。

7. 本件問い合わせ先

公益社団法人中央畜産会 経営支援部（支援・調査）

所在地：〒101 - 0021 東京都千代田区外神田2丁目16番2号(第2ディーアイシービル9階)

担当者：武田、小田中

電話番号：03 - 6206 - 0843

FAX番号：03 - 5289 - 0890

E - mail アドレス：shien@sec.lin.gr.jp

(別添) 中央畜産会経営支援部 (支援・調査) 武田あて (FAX: 03 - 5289 - 0890)

※畜産経営支援者用様式

組織名: _____

ご担当者名: _____

電話番号: _____

大家畜畜産経営データベースの平成 26 年度からの利用申請 (回答)

1. 平成 26 年度以降の利用の有無 (いずれかに○を付してください。)

有り	無し
----	----

※「無し」とされた場合、以下の確認は不要です。本会にて登録抹消処理をさせていただきます。

2. 利用内容の確認 (平成 26 年度以降の支援対象としての登録を希望される畜産経営について、下表に記入願います。)

農家 L I S コード	支援対象経営名	データ種別						その他	
		酪経済	肉経済	牛検	牛個体識別	枝肉格付	枝肉全国	マルキン データ	豚経済
【記入例】									
000*****1	中畜 太郎	○		○	○				
000*****2	中畜 次郎		○		○	○			

※マルキンデータ・豚経済データは今回の有料化の対象外となります。

(別添) 中央畜産会経営支援部 (支援・調査) 武田あて (FAX: 03 - 5289 - 0890)

経営名 (大家畜DB登録氏名) :

※畜産経営用様式

LISコード:

住所:

電話番号:

大家畜畜産経営データベースの平成26年度からの利用申請 (回答)

1. 平成26年度以降の利用の有無 (いずれかに○を付してください。)

有り 無し

※「無し」とされた場合、以下の確認は不要です。本会にて登録抹消処理をさせていただきます。

2. 利用内容の確認 (平成26年度以降の利用を希望されるデータ種別に○を付してください。)

		データ種別				その他	
酪経済	肉経済	牛検	牛個体識別	枝肉格付	枝肉全国	マルキンデータ	豚経済
【記入例】							
	○		○	○			

※マルキンデータ・豚経済データは今回の有料化の対象外となります。